

# まちのわだい

## おいしいーたのしいーが大集合

～伯耆にぎわいフードマルシェ～

地元のグルメが一挙に集まる「伯耆にぎわいフードマルシェ」が6月25日（日）、植田正治写真美術館横で開催され、多くの人でにぎわいました。

このイベントは大山ハムの直売所であるテラスガーデンと美術館周辺のにぎわいを作ろうと開催され、会場では伯耆町内で営業する12の店が屋台やキッチンカーで自慢のグルメを販売しました。来場者は、焼き立てのブリッソーセージにかぶりついたりひんやり甘いかき氷をほおばったりと、梅雨晴れのイベントを楽しみました。

また、グルメだけでなくステージでの和太鼓の演奏、アーティストのライブパフォーマンス、パトカーや白バイの乗車体験も行われ、親子連れで盛り上がりしました。

なお、このイベントは9月にも開催予定とのこと。



伯耆町のグルメが大集合しました

## 将来の目標を考えるきっかけに

～岸本中学校 CHA<sup>3</sup>プログラム～

岸本町民体育館で6月27日（火）、鳥取県教育委員会が主催するOEM<sup>3</sup>（チャチャチャ）プログラムが行われました。

このプログラムは、中学生と地域の大人・大学生が働き方や生き方などのテーマに沿って自由に話すことで、中学生の将来の目標づくりやふるさとへの愛着心を育もうと、岸本中学校で毎年行われています。

この日は岸本中学校3年生64人、日本海情報ビジネス専門学校生などの学生22人、地域の大人32人が参加し、「好きな言葉」「住んでいる町のいいところ」などのお題で話し合いました。

参加した中学生は「普段話すことのない地域の大人や大学生と話すことができ、とてもためになりました」「大人になっても伯耆町に住みたいです」などと話しました。



終始和やかな雰囲気でした

## 消防団員が日々の訓練成果を披露

～鳥取県消防ポンプ操法大会～

鳥取県消防学校屋外訓練場（米子市流通町）で7月2日（日）、県内各地の消防団員がポンプ操法の正確さを競う鳥取県消防ポンプ操法大会が行われ、伯耆町から伯耆町消防団第4分団が小型ポンプ操法の部に出場しました。

消防ポンプ操法大会は、消防団の技術の向上と団員の士気の高揚を図ることを目的に毎年開催されています。消防団員は、ポンプ車からホースを延長して放水し、火に見立てた的を倒すまでの動作の正確さや速さを競いました。

伯耆町消防団第4分団は、団員同士の強い連携と一つ一つの操作の丁寧さ・素早さのある操法を披露し、日ごろの厳しい訓練の成果を発揮しました。



素早い動きで放水する団員